

地域を代表し、皆さまに感謝いたします



チャイルド・スポンサーの皆さま、プドゥコッタイの子どもたちへのご支援と、あたたかいお気持ちに心より感謝申し上げます。皆さまのご支援のおかげで、子どもを取り巻く環境を改善するため活動を継続することができました。

グラディス・ヘップズィバー・T
プドゥコッタイ 地域開発プログラムマネージャー

150

地域の保健施設や村落保健員に対し、医療用手袋150セットを提供しました。新型コロナウイルス感染症の感染と拡大を防いでいます。

3,666

地域の5歳未満の子どもたち3,666人が村落保健員による健康診断を受けました。子どもたちの健康上の問題を早期に発見することで、早くから必要な治療を受けることにつながります。

インド：日本 出典：国連開発計画（UNDP）2020年

5歳未満児死亡数
(出生1,000人あたり)



2.5

平均就学年数



12.8

1日1.90米ドル未満で暮らす人の割合



0.7%



「私も友達も、以前は虐待や育児放棄があった場合、それを訴える方法を知りませんでした。ワールド・ビジョンの研修に参加して、子どもの保護について学ぶことができました。今は、もし危険な状況にあったらどのようにしたら良いかわかりました」

アースイーちゃん、15歳

22

地域の22地区で、最新の災害計画が作成されています。災害が起りやすい地点や、災害発生時に人的・物的被害を防ぐ方法が書かれています。

100%

地域の妊娠中の母親や乳児がいる母親の100%が、家庭訪問を含む産前産後相談サービスを受け、栄養や感染症・けがの防止など、健康に関する知識を得ました。地域の赤ちゃんの健康な成長につながっています。



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「魚やニワトリの飼育を始めて 収入を増やすことができました」



「私は農業で生計を立てていましたが、収入が少なく、家族を養うことは大変でした」とマイケルさんは話します。マイケルさんは、写真のニシシュくん（6歳）の父親です。「新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、収入はさらに減りました」

チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援により、マイケルさんは、自分たちの土地に魚の養殖池を作りました。また、元手となる子持ち魚やえさなどの支援も受け、養殖の方法を研修で学ぶことができました。

「最初の年は、17キロの魚が取れました。自分たちで食べる分のほか、余った分は親戚や友人、必要としている家族へ無償で分けました。2年目は、5倍以上の魚が取れ、魚を売って収入を増やすことができました。今は、ニワトリの飼育も始め、米などの穀物も栽培しています」

ご支援により、チャイルドと家族の生活に 大きな変化がもたらされています

インド プドウコッタイ地域開発プログラム (IND-194856)

2021年度 (2020年10月1日～2021年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	37,918,692
前期からの繰越額	77,801
プログラム支援額合計	37,996,493

プログラム支出額	
生計向上プロジェクト	14,972,360
母子保健・栄養プロジェクト	13,080,150
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	9,021,346
プログラム支出額合計	37,073,856
次期繰越額	922,637

活動内容

生活向上プロジェクト


- 新型コロナウイルスにより経済的影響を受けた家庭に対する生計向上活動
- 公的サポートの受給支援
- 栄養不良児を抱える家庭への食糧支援
- 家庭菜園活動

母子保健・栄養プロジェクト

- 地域の保健ボランティアの育成およびボランティアによる妊産婦・5歳未満児の家庭訪問活動
- 5歳未満児の栄養改善プログラム (母乳育児、離乳食の適切な与え方など)
- 手洗い励行、新型コロナウイルス感染予防法の啓発
- 新型コロナウイルス感染予防のための備品提供 (マスク、消毒薬、手袋、医療用防護具等)

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動

 お問い合わせ先
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL : 03-5334-5351

 Eメール : dservice@worldvision.or.jp
ホームページ : www.worldvision.jp

プログラム番号 : IND-194856